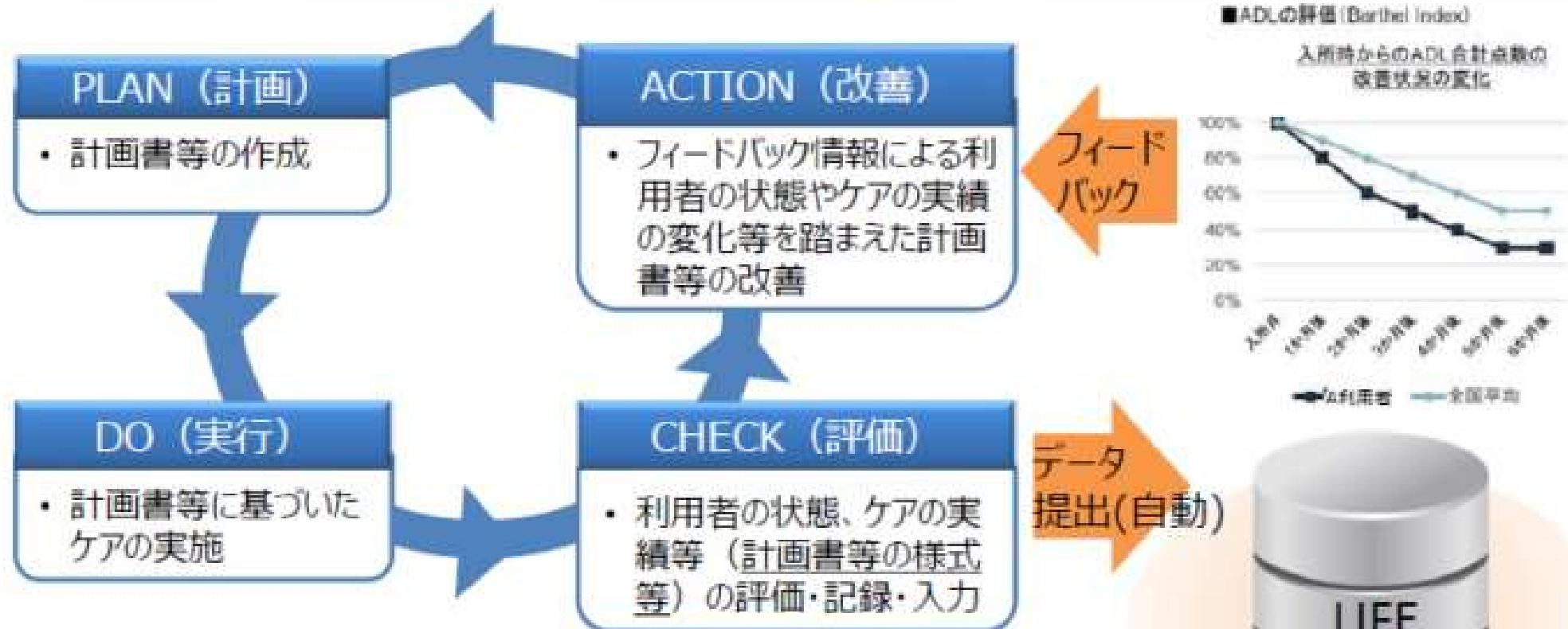


- 計画書の作成等を要件とするプロセス加算において実施するPDCAサイクルの中で、
 - ・ これまでの取組み等の過程で計画書等を作成し、ケアを実施するとともに、
 - ・ その計画書等の内容をデータ連携により大きな負荷なくデータを送信し、
 - ・ 同時にフィードバックを受けることにより、利用者の状態やケアの実績の変化等を踏まえた計画書の改善等を行うことで、
 データに基づくさらなるPDCAサイクルを推進し、ケアの質の向上につなげる。

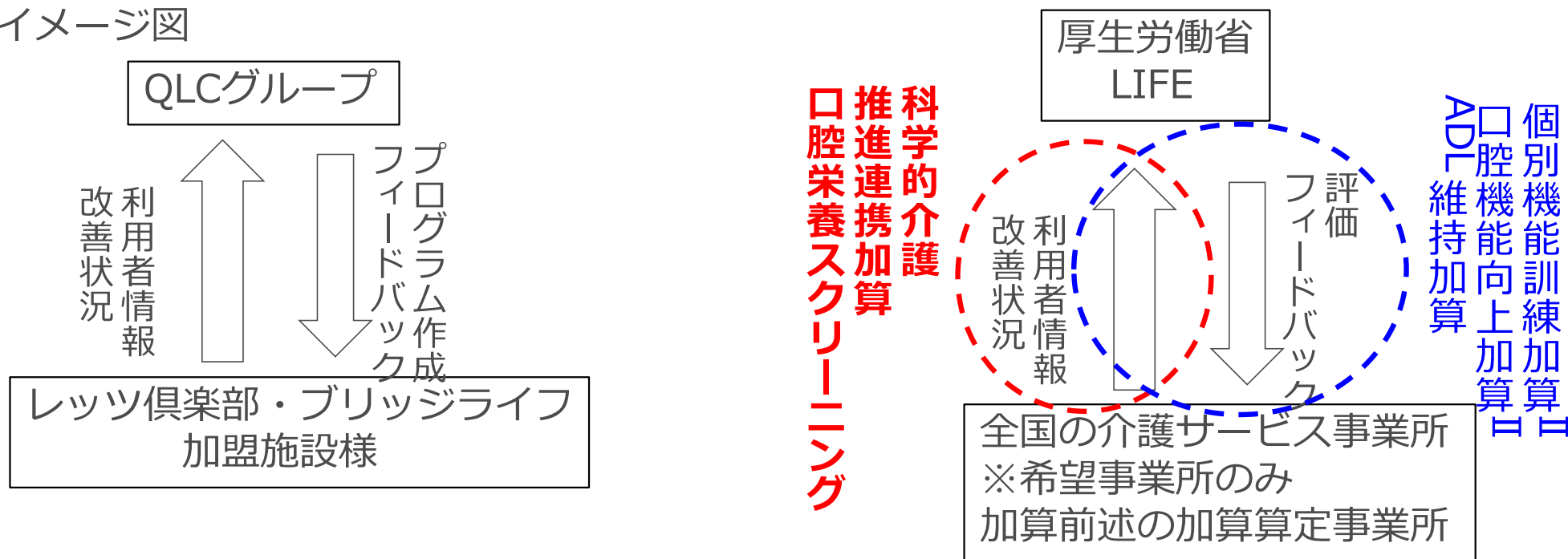


4.③加算についての詳細（その5 LIFEについて）

- ・ LIFE = エビデンス取得のためのデータベース

今までQLCグループが加盟法人様のみと収集してきた改善のエビデンスを全国の介護サービスを対象に厚生労働省がデータベース化しようというもの。これを推進しようというのが今回の改正のポイント

イメージ図



➡ LIFEの推進は、自立支援型デイには良い方向ともいえる

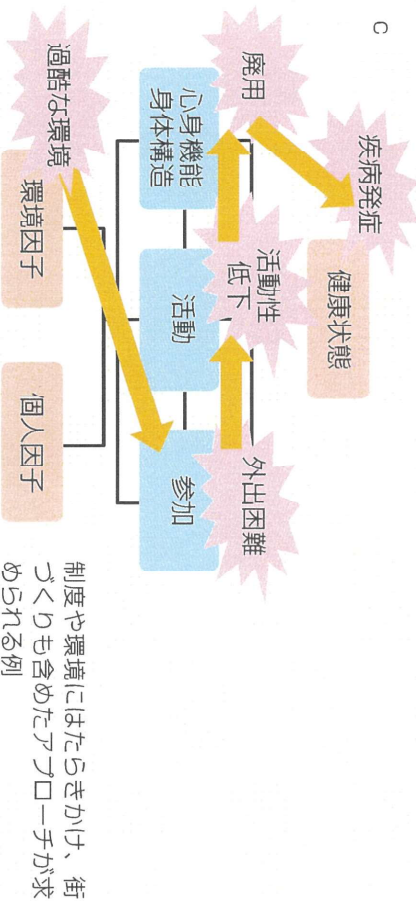
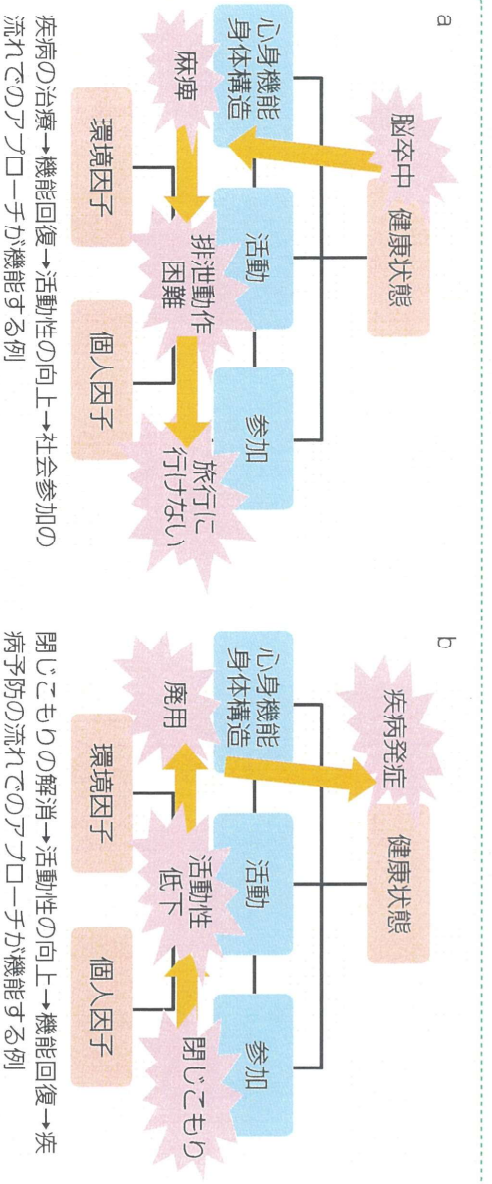


図3 概念モデルのアプローチの優先順位検討への活用例

の立案や優先順位の検討にも応用できます。

個別の課題に対する活用

また、対象者の全体像を把握するだけでなく、食事や排泄など個別の課題分析とアプローチを検討するときにも利用できます。例えば活動と参加の「食べること：ICFコードd550」が課題となった場合、健康状態（食べること）に問題を起こす疾病の状態）、心身機能構造（摂食嚥下機能にかかわる機能の評価）、活動（能力と実行状況）、参加（家族や仲間との食事状況、食事にかかわるイベントなど）、環境因子（テーブルや椅子、車椅子の適合状況など）、個人因子（嗜好や宗教による制限な

ど）を考えることで、「食べること」にかかわる全体像が見え、専門職種の領域に偏った評価とアプローチを回避でき、各担当チームでどう役割分担するかもわかりやすくなります（図4）。

2 分類項目の応用

リハビリテーション総合実施計画書など、さまざまな臨床ツールにICFの分類は応用されています。ICFに基づいたと称する評価表は生活機能構造モデルの概念応用と分類の応用がされています。ICFの約1,500項目のなかから、必要と思われる項目を選択し独自の評

【個別機能訓練 計画書】

作成日	令和3年07月20日	開始日	令和3年08月01日	終了日	令和3年10月31日
カナ	レッツ タロウ	介護度	生年月日	計画作成者	小山 友貴
氏名	レッツ 太郎 (男)	要介護 1	昭和9年05月02日	87 歳	管理者 菅野 孝 相談員 相沢 真 機能訓練 菜花 あゆみ 看護職員 菜花 あゆみ 介護職員 小山 友貴
日常生活自立度	障害 : A2	認知症 : I	小山 友貴	小山 友貴	菜花 あゆみ 菜花 あゆみ 小山 友貴

本人・家族の希望

【本人】透析治療にも体が慣れてきました。リハビリで体を動かして足の力を付けていきたいです。
【家族】少しづつ体調は良くなってきていて、ほっとしています。本人ももった足の力をつけたいと言っているので、一緒にリハビリに通ってみたいです。

利用者本人の社会参加状況	利用者本人の居宅の環境	
健康状態・経過	訓練実施上の留意事項	
病名	腎不全(慢性)高血圧性腎疾患 (発症：平成26年06月15日)	毎週月・水・金透析を行っている
入退院	直近の入院： 直近の退院：	
合併疾患等		

長期目標 03年08月 04年01月	機能	足の運動・バランスの改善 肩甲骨周辺の柔軟性の向上
	活動	ひざで凹凸や段差等の不整地を移動できる ひざで靴下を脱ぐことができる
	参加	リハビリに休まず通うことができる 身だしなみを整えて、地域の活動に参加する
	機能	支持性の向上と立位感覚の学習 股関節・膝関節の可動域向上
短期目標 03年08月 03年10月	活動	自宅の階段を含め転倒せずに近所まで歩くことができる ズボンの着脱時に片足立ちができる
	参加	リハビリに休まず通うことができる 着替えて買い物に出かけることができる

主な実施者：菜花 あゆみ

プログラム立案者：大野 友里子

プログラム名	プログラム内容	実施による効果	時間/回	頻度
① 外出訓練	立ち上がり動作	足の筋力強化	15分	週 1回
	立位保持運動	立位感覚の学習		
	片足立ち運動	足の支持性の向上、バランスの改善		
	膝の曲げ伸ばし運動・大股歩き運動	足の筋力強化		
	直立に歩く運動	歩く練習、歩行感覚の学習		
	方向転換運動	足の運動		
② 脱衣訓練	またぎ動作運動	足の機能の向上		
	屋外にまっすぐ歩く、方向転換	外出を想定した運動作訓練		
	腕上げ運動	肩関節の柔軟性の向上		
	胸を張る運動	肩甲骨周辺の柔軟性の向上		
	手の上下運動1	肩関節の柔軟性の向上、股関節を伸ばす		
	手の上下運動2	上肢の筋力強化、肩甲骨周辺の柔軟性の向上		
③ 入浴訓練	腕の捻り運動	肩関節の可動域の向上		
	足の曲げ伸ばし運動1・2	股関節・膝関節の筋力、可動域の向上		
	足開き運動	股関節・膝関節の柔軟性の向上		
	衣服に肘や頭を通す	自宅での脱衣を想定した運動作訓練		
	前傾・後傾運動	肩のインピンチ、腰の柔軟性の向上		
	背巾洗い1	肩甲骨周辺の柔軟性の向上		
背巾洗い2	背中の筋肉のインピンチ			
背巾洗い3	背中の筋肉のインピンチ、手の筋力の強化			
お尻上げ運動	足の筋力強化、バランスの改善			
足上げ運動	足の筋力強化、運動機能の強化			
浴槽の出入り	自宅での入浴を想定した運動作訓練			
立ち上がり運動	足の筋力強化			

【備考】

事業所名	レッツ倶楽部いわき湯本	事業所No.	0770407781	電話	0246-38-7064
事業所住所	〒972-8322福島県いわき市常盤上湯長谷町五反田85-3 説明者：				

【同意欄】上記計画の内容について説明を受け内容に同意し、交付を受けました。

氏名	続柄	本人
----	----	----

※厚生労働省等の行政機関および医学会へ機能訓練実施に伴う経過・改善効果などを特定できない場合、情報提供する場合があります。

7. ⑥事務作業について

- ・電磁的対応を認める（ペーパーレス化を許可）

①利用者への説明や同意の電磁対応許可

署名捺印でなくとも良い。

②諸記録の保存、交付を電磁的な対応を認める

③運営規定、重要事項の閲覧可能なファイル保存を可能に

ポイント

『紙』ベースでの業務からの離脱、ICT化による効率化を促す。
LIFE（現CHASE）を含めて時代についてこれない法人が多数出てくると予測される